



印象に残った写真集

支援の現場で(交通編)



ナイル架橋建設事業

わたしたちの ジンジャ橋

東アフリカの交通の要所に架かる新しい橋。これは日本の支援で建設したものです。日本の力を借りて自分たちが作り上げたんだと誇らしげに語る現地の方々の姿を非常にまぶしく感じ、支援のあるべき姿を垣間見た気がしました。ウガンダを象徴する美しい橋が、ウガンダと日本の友好を象徴する橋であることを嬉しく思います。
牧之段 はるか

交通がスムーズ。とても交通量が多く、危険なところも多いので、国全体が整備されてほしい！と強く思った瞬間。日本の方の技術や思いが伝わる場所。
小川 知美

カンパラ立体 交差建設



カンパラ立体交差建設・道路改良事業

支援の現場で(学校編)

あしながウガンダ

あしながウガンダでいただいた給食です。人生初の手食でいただきました。米、マトケ(バナナ)、ドードー(野菜)、チキン...どれも日本人にとっても食べやすい味でおいしかったです。できたての給食はとても熱くて手で掴むのが大変だったのですが、子どもたちは全く熱がっておらず驚きました。 北平 浩美



初めての手食



飲んで飲んで

あしながウガンダで、自分の好きなファンタを「おいしいから飲んで飲んで」と口に入れて飲ませてくれたHarima君結局1本全部飲ませてくれました。自分の好きなものをプレゼントしたい気持ちって日本もウガンダも大人も子どもも同じ。空になったペットボトルは宝物になりました。 後藤 千春

あしながウガンダで大学生が準備してくれた英語の質問に答え終わった時の様子です。内容も高度で集中力が切れてしまうのでは?といった心配もなんのその、最後までとても真剣に答えてくれました。将来の夢は医者、大切なものは妹、と即答、自分の考えをしっかりとっていて、なんだかしみじみと感動してしまいました。 土井 菜奈子



質問ぜんぶ
答えられたよ!

ゴンベ中高等学校



ゴンベ中高等学校 にて！

「こんにちはー！」っと日本語で話しかけてくれるゴンベの生徒さんたちがとっても印象に残っています。交流授業では、日本の中高生からのクイズに答えてもらい、更に一緒にソーラン節も踊ってもらい楽しめました。ドーハの空港でソーラン節の練習をしたことも懐かしいっ！

増田 萌

思いやりの心



日本の生徒が作成した折り紙をウガンダの子ども達に渡しました。ゴンベ中高等学校では、折り紙を受け取った生徒が次々にノートに何かを書き始めます。日本の生徒達へのメッセージを自発的に書いていたのです。学用品が買えずに退学する子供も多いウガンダ。子ども達の“他者に思いを馳せる温かな行動”に胸を打たれました。

北平 浩美

支援の現場で(農業・動物園編)



コメ振興プロジェクト

鳥追い3人組

彼らは大きな声を出して田を走り回っていた。ウガンダでは1年中コメを栽培することができ、収穫時期もバラバラである。そこで、鳥は稲穂がある田にたくさん集まり、食べてしまうのでそれを追い払っていた。日本ではあまり見ない光景であり、お米をたくさん獲れるようにする懸命な姿に、米作りの大変さを学ぶことができた。

堀内 雅人

My dream city

ウガンダは道端にゴミが落ちていることが普通でしたが、UWECの園内は綺麗でびっく。協力隊員の方が清掃やリサイクル活動などの取り組みに尽力していると聞きました。このスローガンは意識改革を根気強く行っていることの象徴だと感じたものです。この先の持続可能性を意識して支援を行っていることが伝わってきます。

牧之段 はるか



Uganda Wildlife Conservation Education Centre

ウガンダのごはんや食材

現地食を毎回おいしくいただきました。特に、マトケが大好きになりました。ジーナッツソースも美味でした。ゴンベ中高等学校への移動の途中で寄ったレストラン「カスビー」のマトケがベスト オブ マトケです。帰国後、調理用バナナでマトケづくりに挑戦しましたが、あの滑らかさは再現できず(涙)また食べたいな
後藤 千春



マトケ

ベスト
オブ マトケ

そこら中にバナナの木が！
大自然に囲まれた国で暮らしている、心優しいウガンダの人々を肌で感じてきました。そして、ウガンダで活躍されている日本の方たちの話を聞き、またウガンダに来たいなという気持ちになりました。
ウガンダ大好き！ウガンダ最高ー！
増田萌

ウガンダ最高ー！



ウガンダの人々の生活



洗濯物

生徒も興味を示して見ていた写真の1枚。
都市部と比べても日本と比べても、生活
の様子が違うことがわかる写真。

小川 知美

それぞれの時間

地方都市の様子。バイクタクシー(ボダ
ボダ)はどこにでも現れる。ノーヘルが
普通なのかもしれない。1階は電気屋で
2階はラジオ局。FMラジオは地方の情
報源として活躍している。環境の違い
はあるが、人間の暮らしは基本的に大
きく変わることはない。内山 俊太



道は続くよどこまでも

コメ振興プロジェクトの視察帰りのナム
ロンゲの風景です。首都カンパラとは違
う、がたがたの土の道を大きく揺られな
がらひた走ったのが印象に残っています。
青空はとても綺麗で、自然が感じられて、
とにかく道がまっすぐ続いている素敵な
光景でした。土井 菜奈子



Nakasero Market

この写真を取ったあと、奥のほうから目つきの鋭いお兄さんたちが出てきて、絶対に俺たちを撮るんじゃないぞと注意されました。。市場はいろんな所から運ばれてきた農産物がたくさん集まって、狭苦しいところで人も多いが、アフリカの混沌さを感じることができた。

堀内 雅人

え、進まない…

初めて降り立ったウガンダ。エンテベ空港付近は、道がとても整備されている印象だった。都心部カンパラに行くと、徐々に人やクルマ、バイクが増えてきてこの状態に。これが日常か…と感じた一枚。

内山 俊太

